



令和3年11月8日

第1回「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」を開催

(一社)日本物流団体連合会(池田潤一郎会長)は、11月1日(月)、港区の東京都立産業貿易センターで第1回「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」を開催した。

本会合は、2030年の中期目標(温室効果ガス2013年度比46%削減)や2050年カーボンニュートラルに向けた国や産業界の対応や物流業界の取組み等を把握し、情報共有・意見交換等を行うことで、物流業界における低炭素・脱炭素化の推進に資することを目的として、当連合会の物流環境対策委員会の新たな取組みとして立ち上げたものである。

今回は二部構成とし、第一部では、有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー シニアマネジャー 奥村 剛史氏から、「ESG経営と気候変動/カーボンニュートラル」と題して講演がなされ、会員企業・団体にも公開型とし、関東圏外からも含めて100名(実参加18名、オンライン参加82名)が参加した。

講演会では、物流分野の低炭素・脱炭素化への導入編として、「カーボンニュートラルとESG」をテーマに、ESGが注目される背景、気候変動をめぐる最新の動向、ESG情報開示等について、欧州の先行事例等も交えながら説明された。オンライン含めて活発な質疑応答が行われた後、講演会は終了した。

引き続き開催された第二部の会合では、会員企業から19名(実参加14名、オンライン参加5名)が参加した。冒頭、事務局から会合の趣旨や立ち上げの背景等について説明された後、各社から環境対策の取組み内容や現在の課題、本会合への要望等について説明があり、最後に今後の活動内容について意見交換を行い閉会した。

次回は来年1月頃の開催を予定している。



講演する奥村氏



挨拶する伊勢川事務局長



講演会・委員会全景

以上
事務局 細野